

小野寺五典防衛大臣殿

オスプレイの中四国地方での夜間訓練の強行に抗議する

2013 年 5 月 9 日 日本平和委員会

米軍は 5 月 8 日、欠陥機オスプレイ 3 機を岩国基地に飛来させ、8 日夜、2 機が夜間飛行訓練を強行した。これは、高知県本山町や香美市、徳島県、愛媛県でも目撃され、住民から不安の声があがっている。

今回の訓練について、防衛省からは、8 日昼に岩国基地に飛来する「可能性がある」との連絡が該当自治体になされただけで、飛行ルートや時間についての一切の連絡はなかった。これは関連自治体や全国知事会が最低でも飛行計画の事前の連絡や十分な説明を求めていることも無視した、許しがたい態度である。

我々は、日本の航空法では本来飛んではならない欠陥機オスプレイの沖縄・本土での一切の飛行の中止と配備の撤回を求めるものである。また、住民の平穏と安全を脅かす米軍機の低空飛行訓練のすべてを中止することを求めるものである。そして最低でも関係自治体への訓練情報の事前通知と説明を行うことを求めるものである。